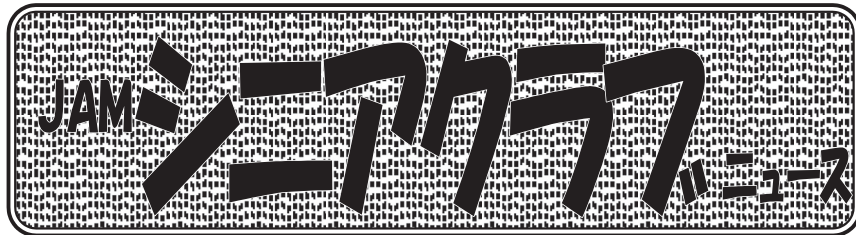


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第149号

発行日 2020年1月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

知恵と行動で抱える課題の解決へ

現役との連携を強め組織を拡大し

社会保障制度の後退を許さない

東京オリンピック・パラリンピックが開催される年が明けた。メイン会場となる新国立競技場も完成し各国のアスリートがどのようなパフォーマンスを見せてくれるか期待に胸が膨らむ。7月には東京都知事選、国政の流れによっては年内総選挙の可能性もある。今年こそシニアとして抱える組織拡大と政策制度を着実に前進させなければならぬ。シニアクラブ会員の皆さんの今年一年のご協力をお願いいたします。

シニアクラブが抱える課題に向けて、積極的に取り組み、結果に繋げなければならない。

テーマは組織拡大と	こととなる。
社会保障制度の後退	組織拡大はこれまでの
を許さない取り組み	の地方及び現退の努力
に全力をあげていく	にも拘らず物故者を含

む退会者が新規加入者を上回る状況が続いて4年連続で減少している。対策として昨年末に現役メンバーを加えた「組織対策委員会」を設置し、現役との連携を強め具体的にすすめる活動を始めた。

第1回の会合で構成組織への実態調査とヒアリングを実施すること、組織拡大の事例を集め事例集とし纏めること、活動内容を書記長会議や地方代表者会

議へ報告し、現退の認識に齟齬が生じないよう環境の醸成をはかることを確認した。組織拡大には継続雇用や組合員化、既存OB会など様々な課題が錯綜しているが現退の知恵と行動で活動に拍車をかけなければならぬ。

もう一方のテーマである社会保障は負担増と給付減などを精査しなければならぬ。昨年末、政府が9月に立ち上げた全世代型社会

保障検討会議が中間報告をまとめた。これを基に政府は通常国会に年金を、臨時国会に医療の改革法案を出す方針を明らかにしている。

主なものは、年金は厚生年金が適用される範囲を広げることが柱で、現在の適用事業所は企業規模が従業員501人以上であるが、これを22年10月に101人以上に、24年10月からは51人以上にする段階案を。在職高齢年金制度については廃止すると年金支給総額が年1兆円増えるといわれ野党が反発、60〜64歳の減額基準を見直し65歳と一律の47万円としている。また70歳までの雇用機会づくりを企業の努力義務として環境整備を促し受給開始する年齢を60〜75歳で選択可能にするなど。

1月1日に地球温暖化防止の「パリ協定」が開始しました。「パリ協定」の目標は明確です。昨年12月の国連の気候変動会議では、日本政府はまたもや市民団体から「化石賞」を受賞しました。温暖化への対策は、この10年が勝負だと言われています。また、5月に「核兵器廃絶」に向けた国連の会議が開かれます。安倍政権はトランプ大統領と歩調を合わせ、核兵器禁止条約の批准に後ろ向きです。年明けにトランプ大統領のイランへの攻撃に驚愕しましたが、戦争の火種はそのままです。

者医療制度では、自己負担について今でも現役並み収入は3割負担で原則は1割負担ですが、2割負担を導入することを打ち出し、秋の臨時国会に法案を出す準備を進めています。済スライドはそのままです。基礎年

金にはマクロ経済スライドを適用しないなど年金の水準を確保する取り組みを重視します。

モリ・カケに続き、「桜を見る会」「カシノ汚職」など安倍政権の

安倍政権を退陣させ 社会保障を充実する政治へ

JAMシニアクラブ会長 大山 勝也

新年挨拶



増・給付減の「全世代型社会保障検討会議」の報告を出しました。後期高齢

通常国会で審議される介護法案では、隠蔽、改竄、腐敗は枚挙に事欠きません。解散・総選挙で安倍政権を退陣させ、地球と平和を守り、社会保障制度を充実する政治の実現へ頑張ります。

医療では現状75歳以上の窓口負担は原則1割であるが2割負担を新設し、1割・2割・3割の3区分に。但し2割負担の所得ラインをどこにするかは今後検討し22年の実施を目指すとしている。

知 人間関係の繋がりを大切に 愛 組織拡大と助け合い活動を推進

事務局長 熊谷 悠之

愛知シニアクラブは10月23日「ワークライフプラザれあろ」で第19回定期総会を開催した。総会には59名が出席し中島善之副会長の開会挨拶後、議長に河辺昌彦幹事を選出した。主催者代表の吉田博会長は「豪雨と台風15・17・19号の襲来は各地に大きな被害をもたらした。これは地球温暖化の影響によるものと気象学関係者は言及し

来賓挨拶ではJAMシニアクラブ木村正次副会長は、参議院議員選挙では力強い支援を受けながら結果を出せなかったことに陳謝を述べ、9月の定期総会で決定した会員拡大と地域活動強化の方針を紹介、活動とともに推進しようと語り



JAM愛知シニアクラブ第19回定期総会

た。さらにJAM東海佐藤元紀副委員長、連合愛知シルバー倶楽部東正元会長、岐阜シニア北村務会長から挨拶を頂いた。総会では4議案を満場一致で可決。特に、愛知シニア結成からのスローガン「人間関係の繋がりを大切に」を継続し、①10%以上の会員拡大・組織の充実、②労働運動の原点である「困ったとき」の助け合い活動、JAM共済への継続した加入促進を現退で推進する。また会長以下13名の新役員を承認した。新三

玉 第19回定期総会を開催 埼 会員拡大に新たな取り組み

事務局長 林 久詔

10月26日(土)午後2時から東天紅JACK大宮店にて、JAM埼玉シニアクラブ第19回定期総会が開催された。会員の出席は役員を含む43名で、来賓にJAMシニアクラブ・大

える学習会を開催した。この中で「老い」と真正面から向き合うことで見えてくる家族の絆をつくる大切さをひしひしと感じた。さん童心に返り盛り上がった。最後は服部JAM埼玉顧問の手締めで締めくくった。総会では喜寿のお祝いの対象者9名中当日出席の2名に那珂会長から直接お祝い手渡された。議案では会員拡大の取り組みに、共済ユニオンと連携し共済ユニオン会員でシニアクラブ未加盟の方に直接加入を働きかけること。このために必要な規約の一部改訂を行った。新役員は、会長に那珂通敏(再任)、副会長に駒込登(再任)、小泉茂(新任)、事務局長に林久詔(再任)の3役と幹事12名(新任3名)合計16名の役員が選出された。

城 第18回定期総会を開催

全ての議案を満場一致で承認

井上 純一 通信員

11月13～14日の2日間、福島県須賀川市「快晴の湯芹沢温泉」で、茨城シニア第18回総会が開催された。会



ニアカラブ大野事務局長が参加した。行程は神立駅を10時に出発、途中参加者と車内の飲

物やツマミを乗せ全員が揃い、高速道千代田石岡ICから常磐高速、那珂ICを経由して里見山桜で昼食。昼食後一路総会場所の芹沢温泉へ。到着後早々に総会が行われ、井上副会長の進行のもと岡村副会長を議長に選出し高石会長と来賓のシニアクラブ大野事務局長より挨拶を頂いた。議案審議では活動報告と会計報告が斎藤事務局長より、高田会計

監査から監査報告がされ満場一致で承認された。引き続き斎藤事務局長より2020年度活動方針案、予算案、政策実現への取り組み、核廃絶1000万人署名の提案がされ満場一致で承認・可決された。第二部の懇親会では一年振りの総会での再会を喜び合い話も弾みカラオケで自慢の歌を披露し合いながら楽しい一時を過ごした。翌日は午前9時に集

合写真を撮り、バスに乗車して須賀川市の牡丹園で見頃の紅葉や寒牡丹を鑑賞。その後、豪雨の傷跡も生々しい乙字ヶ滝を訪れ、まだ流量の多いこじんまりしたナイヤガラの滝を思わせる景色を楽しんだ。さらに次の袋田の滝では名物のこんにゃくとけんちんうどんの昼食後、いくらか早い紅葉の豪快な滝を鑑賞し一路バスに揺られるが無事帰宅した。



【埼玉】シニアクラブ 第19回定期総会

加の懇親パーティーが田子顧問の乾杯で開会し懇親を深めた。恒例のビンゴゲームでは、皆

また特別提案として、相次ぐ台風の水害被災者に対し支援の一助として義援金のカンパを行い、3万2407円が集約された。